

## 2023 年度事業報告書(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

2023 年度は、コロナ禍で開催できなかった海外セミナーと国内セミナーを、対面で再開することができた。保険フォーラムは 5 大学で開催できた。

### 1. 事業報告

#### (1) 研修事業

##### ① 海外現地セミナー

今年度の海外現地セミナーは、台北、ハノイ、マニラで開催した。ハノイでのセミナーは、ベトナム保険協会奨学制度の奨学金授与式とのセットで開催された。

開催国・地域(都市)とテーマ	開催日	共催団体	参加人数
台湾(台北) 「日本の生命保険市場の最近の動向」	8/29	台湾生命保険協会	59 名
ベトナム(ハノイ) 「超高齢社会における生命保険事業」	12/18	ベトナム保険協会	350 名
フィリピン(マニラ) 「日本の生命保険業の最近の動向」	3/22	フィリピン生命保険協会	49 名

##### ② 国内セミナー

国内(東京)セミナーは、春・秋ともに、英語による対面セミナーを開催した。コロナ明けで久々の対面セミナーだったため、参加人数を通常よりも絞るとともに、春セミナーについては期間も 1 日短くして開催した。

セミナー名	テーマ	開催期間	参加者数
OLIS 2023 Spring	営業戦略	5/25～5/29	19 名
OLIS 2023 Autumn	生命保険会社のオペレーション	10/19～10/24	26 名

##### ③ 渡航費支援

今年度の国内セミナー参加者への「セミナー等参加渡航費の支援制度」による渡航費支援は、2 回合計で 18 名に 220 万円を支援した。

#### (2) 教育振興事業

##### ① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学理工学部「生命保険概論」は、10 月より 14 年目(3 年講座期間の第 5 ターム 2 年目)を開講した。

学期「講座名」	開講期間	場所
春学期「生命保険数学特論」	9/4～9/8	慶應義塾大学矢上キャンパス
秋学期「生命保険概論」	10/5～1/18	慶應義塾大学日吉キャンパス

2014 年度より中央大学理工学部・大学院理工学部研究科において「OLIS-プルデンシャル生命・ジブラルタ生命保険寄附講座」を開設し、2023 年度は 10 年目を開始した。2023 年度以降は寄附金残(2023 年度期首残高 6,396,253 円)を活用し、新たな寄附を行わずして開講されている。

講座名	開講期間	場所
金融工学	前期	中央大学理工学部
保険数理	後期	中央大学理工学部
アクチュアリー数理 I	前期	中央大学大学院理工学研究科
アクチュアリー数理 II (アクチュアリー数理特論)	後期	中央大学大学院理工学研究科

また、2022 年度より開始した、早稲田大学大学院会計研究科による寄附講座(提携講座)「生命保険の理論と経営」は、2023 年度は 2 年目を開始した。なお当講座の教員である谷口豊先生、大塚忠義先生は、当講座に於いて 2022 年度秋学期早稲田大学ティーチングアワード総長賞を受賞した。

※早稲田大学ティーチングアワード:優れた教育方法と創意工夫の普及により教育の質のさらなる向上をはかるとともに、学生授業アンケートの活用とその質的向上を目指す一環として、優れた教育を実践している教員に対して授与されるもの。

講座名	開講期間	場所
生命保険の理論と経営	10/9～1/29	早稲田大学早稲田キャンパス

## ② 保険フォーラム

本年度は、次のとおり 5 回開催した。

開催大学	テーマ	開催日	参加人数
早稲田大学	学部生・大学院生のためのアクチュアリー研究 セミナー	5/13	13 名
武蔵野大学	機械学習とアクチュアリー学	6/10	77 名
慶應義塾大学	キャリアとしてのアクチュアリー	7/29	51 名
広島大学	ファイナンスと保険数理	9/30	32 名
青山学院大学	アクチュアリーの仕事とデータサイエンス	1/27	33 名

※中央大学は大学の都合で中止となった。

## (3) 奨学制度

生命保険を学ぶ大学生を対象にタイ生命保険協会が実施している奨学制度を助成する「タイ生命保険協会奨学制度」は、奨学生 5 名に対して一人 5,000 バーツ、合計 25,000 バーツ(約 10 万円)を 7 月に給費した。

ベトナムの大学において生命保険を学ぶ第三学年を修了した学生を対象とした奨学金制度「ベトナム保険協会奨学制度」について、奨学生 9 名に対して、総額 3,000 米ドル(約 45 万円)を 12 月に給費した。

## (4) 広報・出版事業

### ① 論文・書籍・情報の翻訳

「保険業界 2.0」(イオン・アリアンツ生命保険株式会社代表取締役社長 野口俊哉著、きんざい)を英語に翻訳し、出版した。完成した各訳本は、アジア各国の生命保険協会、生保関係機関、主要保険会社及び国内関係機関へ、無償で配布した。なお、中国語版書籍も製作する計画であったが、送付先の見込み数が少ないことから製作せず、中国及び台湾にも英語版を配布した。

### ② ホームページの改修

セミナー案内、保険フォーラム開催案内など最新情報の発信に努めた。

### ③ 「日本の生命保険マーケット最新事情」の発信

日本の生命保険の現状を共有することを目的に、「日本における生命保険信託」、「日本の高齢者向けサービスと高齢者住宅」をテーマに、英語、日本語、中国語(繁体字・簡体字)の 3 か国語、4 文体で財団ホームページに掲載した。「日本の高齢者向けサービスと高齢者住宅」は、シニアライフデザイナー代表の堀内裕子氏に執筆いただいた。

(5) 運営委員会の開催

広い視野に立って財団の事業の在り方を検討するため、2023年度は次の方に運営委員会委員を依頼し、理事長を議長として次のとおり運営委員会を開催した。

① 運営委員の選任

森宮 康 委員 (明治大学名誉教授)

前田 吉昭 委員 (財団理事 東北大学特任教授(客員)、慶應義塾大学名誉教授)

飯島 至雄 委員 (財団評議員 元三井住友海上火災保険(株)執行役員)

寺田 重陽 委員 (財団評議員 前財団理事長)

② 運営委員会の開催

・第1回運営委員会

日時 2023年12月11日 17時00分～

場所 (公財)アジア生命保険振興センター 理事長室

議題 ・2023年度事業報告

・2024年度事業計画

2. 組織運営報告

行事	開催日	主な議事・内容など
会計・業務監査会	2023年5月12日	2022年度事業と会計の監査
第34回理事会	2023年5月19日	2022年度事業報告及び財務諸表、 定時評議員会開催
第17回評議員会	2023年6月14日	2022年度事業報告及び財務諸表、 評議員の選任
第1回運営委員会	2023年12月11日	2023年度事業報告 2024年度事業計画
第35回理事会	2024年2月16日	2024年度事業計画及び収支予算 2024年度資産運用計画 臨時評議員会開催 2023年度事業報告
第18回評議員会	2024年3月20日	基本財産の処分(全評議員の同意を得たみ なし決議)